

平成 18 年度科学研究費補助金研究成果報告書概要

1. 機関番号 3:4:5:1:3 2. 研究機関名 神戸松蔭女子学院大学
 3. 研究種目名 基盤研究(A) 4. 研究期間 平成 15 年度 ~ 平成 18 年度
 5. 課題番号 1:5:2:0:2:0:0:9
 6. 研究課題名 日常的推論の論理と言語形式: 量化表現、条件文、モーダル表現を中心として

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
1 0 1 5 8 8 9 2	ツガナグンジ, タカオ 郡 司, 隆 男	神戸松蔭女子学院大学・文学部	教授

8. 研究分担者(所属研究機関名は、研究代表者の所属研究機関と異なる場合に記入すること)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
7 0 2 6 3 9 9 4	ツガナアリタセツコ 有 田, 節 子	大阪樟蔭女子大学・学芸学部	教授
2 0 2 1 3 2 3 3	ツガナイマニイクミ 今 仁, 生 美	名古屋学院大学・外国語学部	教授
1 0 1 5 4 9 5 7	ツガナタクボ, ユキノリ 田 窪, 行 則	京都大学・大学院文学研究科	教授
0 0 2 7 3 7 1 4	ツガナマツイ, ミチナオ 松 井, 理 直	文学部	准教授
6 0 1 8 1 9 3 9	ツガナミトウヒロシ 三 藤, 博	大阪大学・大学院言語文化研究科	准教授

9. 研究成果の概要(当該研究期間のまとめ, 600字~800字, 図, グラフ等は記載しないこと)

本研究では、日本語と、英語などの西欧語、および類型論的に日本語に近い韓国語を対象として、推論の表現形式におけるこれらの言語間の差異と類似性を網羅的に調べ、言語の普遍性と個性の問題に新たな観点から焦点をあてることを試みた。特に、日本語における形式的側面の解明と並行して、西欧語の文脈依存性という非形式的側面を明らかにし、それぞれの言語において従来手つかずである面を補完することを目指した。一部に完全な成果を挙げるには至らなかった部分も存在するが、おおむね所期の目的を達することができたと考えられる。

以下、具体的に、主な研究成果をあげる。

1. おおむね平成 17 年度以降、それまでの研究成果を国際会議などで発表してきた。例えば、田窪、坂原は、2006 年度に、東京大学での国際シンポジウム「認知言語学の哲学的基礎」で発表し、また、田窪は、韓国延世大学での国際認知言語学会、Wisconsin 大学での日本語・韓国語言語学会などで研究発表をおこなった。
2. おおむね平成 18 年度以降、今までの研究成果を論文の形をとって発表してきた。例えば、三藤は、イベント意味論の枠組みに基づく日本語の名詞句の意味論について論文を執筆し、平成 19 年 5 月に刊行の予定である。また、田窪が、上記、Wisconsin 大学で行われた日本語韓国語言語学会議で発表した論文 2 編(単著 1 編、海外研究協力者の Kaufmann との共著 1 編)が平成 19 年 3 月に出版された学会プロシーディングに掲載された。

平成 19 年 2 月下旬に、分担者のほぼ全員と海外研究協力者などにより淡路夢舞台国際会議場で 3 日間にわたるワークショップを開催し、研究発表と 4 年間の研究成果の総括をおこなった。具体的な計画は未定だが、今後も研究上の交流を維持していくことで一致した。

10. キーワード

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| (1) 推論 | (2) 日常言語 | (3) 論理形式 |
| (4) 量化表現 | (5) 条件文 | (6) モーダル表現 |
| (7) 国際研究者交流 | (8) アメリカ:韓国 | (裏面に続く) |

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（67）件

著者名	論文標題			
有田 節子	書評論文: Barbara Dancygier, <i>Conditionals and Prediction: Time, Knowledge, and Causation in Conditional Constructions</i>			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『言語研究』	Vol. 124	2003	155-174	

著者名	論文標題			
宝島 格・今仁 生美	計算機による言語理解のための方策2			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『名古屋学院大学論集: 人文・自然科学篇』	Vol. 39, No. 2	2003	31-42	

著者名	論文標題			
今仁 生美	日本語の wh 句の意味論的分析			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『名古屋学院大学論集: 言語・文化篇』	Vol. 14, No. 2	2003	57-68	

著者名	論文標題			
馬田一郎・片桐恭弘・下島篤	図形コミュニケーションにおける描画インタラクションについて			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『日本認知学会 第20回大会 論文集』	Vo. 20	2003	272-273	

著者名	論文標題			
Katagiri, Y. & T. Takahashi	Social summarization for semantic society			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Proceedings of International Workshop: From Semantic Web to Semantic World</i>		2003	1-4	

著者名	論文標題			
Bono, M., N. Suzuki, & Y. Katagiri	An analysis of non-verbal cues for turn-taking through observation of speaker behaviors			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Proceedings of ICCS/ASCS-2003 Joint International Conference on Cognitive Science</i>		2003	CD-ROM	

〔図書〕 計（12）件

著者名	出版社			
Hoji, H., S. Kinsui, Y. Takubo, & A. Ueyama	Routledge Curzon			
書名	発行年	総ページ数		
A. Li, & A. Simpson (eds.) <i>Functional Structure(s), Form and Interpretation: Perspectives from East Asian Languages</i> Demonstratives in modern Japanese	2003	280		

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（0）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題		
Umata, I., A. Shimojima, Y. Katagiri, & N. Swoboda	Interaction organization in graphical communication		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of 25th Annual Meeting of the Cognitive Science Society</i>		2003	1170-1175

著者名	論文標題		
Fay, N., M. Bono, & Y. Katagiri	Interactive gesture co-ordination: a study of interpersonal pointing alignment		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of IGC (Interactive Graphical Communication)</i>		2003	83-86

著者名	論文標題		
Umata, I., A. Shimojima, Y. Katagiri, & N. Swoboda	Graphical turns in multimodal communication		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of 2nd Interactive Workshop on Interactive Graphical Communication</i>		2003	69-78

著者名	論文標題		
鈴木 紀子・片桐 恭弘	Prosodic synchrony for error management in human-computer interaction		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>ISCA Workshop on Error-Handling in Spoken Dialogue Systems</i>		2003	107-111

著者名	論文標題		
Bono, M., N. Suzuki, & Y. Katagiri	An analysis of participation structure in conversation based on Interaction Corpus of ubiquitous sensor data		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of INTERACT 2003 Ninth IFIP TC13 International Conference on Human-Computer Interaction</i>		2003	713-716

著者名	論文標題		
Suzuki, N., Y. Yabuta, Y. Takeuchi, & Y. Katagiri	Effects of voice prosody by computers on human behaviors		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of EuroSpeech2003</i>		2003	161-164

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社		
郡司 隆男・西垣内 泰介（編）	研究社		
書名	発行年	総ページ数	
『ことばの科学ハンドブック』	2004	x+281	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題		
片桐 恭弘	ロボットの社会的知能		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『情報処理』	Vol. 44, No. 12	2 0 0 3	1233-1238

著者名	論文標題		
松井 理直	言語理論に基づく音楽の形式的分析とその問題点		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『日本音響学会誌』	Vol. 59, No. 3	2 0 0 3	165-171

著者名	論文標題		
松井 理直	母音無声化の知覚の手がかりについて		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Kansai Linguistic Society</i>	Vol. 23	2 0 0 3	106-116

著者名	論文標題		
松井 理直	無声化母音の生起における知覚的制約		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『日本心理学会 第66回大会論文集』	No. 66	2 0 0 3	1AM114

著者名	論文標題		
三藤 博	定名詞句の意味解釈への関数アプローチ		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『自然言語の意味構造』(言語文化共同研究プロジェクト2003)		2 0 0 3	33-41

著者名	論文標題		
田窪 行則	言語の形式的アプローチと機能主義的アプローチ		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『日本語学』	Vol. 22, No. 9	2 0 0 3	6-11

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社		
郡司 隆男	研究社		
書名	発行年	総ページ数	
郡司隆男・西垣内泰介編, 『ことばの科学ハンドブック』 意味と論理 (pp. 151-194)	2 0 0 4	x+281	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題		
Takubo, Y., J. Sasaguri, & Y. Kinjo	Lexical manifestation of an extensionalizing operator in Japanese		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>The Conference Handbook of the 2nd Seoul International Conference on Discourse and Cognitive Linguistics</i>		2 0 0 3	593-604

著者名	論文標題		
郡司 隆男	日本語のAspectと反実仮想		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 6	2 0 0 4	21-34

著者名	論文標題		
今仁生美・宝島格	自然言語における量化と照応—指示計算のメカニズム		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』	Vol. 15-1・2	2 0 0 4	1-19

著者名	論文標題		
Takarajima I., K. Akama, I. Imani, & Y. Shigeta	On the termination of non-deterministic programs based on the equivalent transformation computation model		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of the International Conference on Algorithmic Mathematics & Computer Science</i>		2 0 0 4	391-395

著者名	論文標題		
Takarajima, I., K. Akama, I. Imani, & H. Mabuchi	Design of termination for non-deterministic programs based on the equivalent transformation computation model		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Proceedings of the Fifth International Conference on Intelligent Technologies (InTech 2004), Houston Texas</i>		2 0 0 4	226-235

著者名	論文標題		
Fay, N., N. Swoboda, T. Fukaya, I. Umata, & Y. Katagiri	Using graphics to communicate across cultures		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Diagrams 2004</i>		2 0 0 4	

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社		
松井 理直	研究社		
書名	発行年	総ページ数	
郡司隆男・西垣内泰介編, 『ことばの科学ハンドブック』音声のしくみ (pp. 37-81)	2 0 0 4	x+281	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（67）件

著者名	論文標題		
坊農 真弓・鈴木 紀子・片桐 恭弘	多人数会話における参与構造分析		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『認知科学』	11 巻 3 号	2 0 0 4	214-227

著者名	論文標題		
松井 理直	計算論的関連性理論による反実仮想解釈の検討		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『日本認知科学会第21回大会発表論文集』		2 0 0 4	312-313

著者名	論文標題		
松井 理直	計算論的関連性理論に基づく反事実条件文の解釈		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 7	2 0 0 4	83-101

著者名	論文標題		
松井 理直	推論における認知的関連性の定量的計算過程		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『文法と音声』	IV	2 0 0 4	101-122

著者名	論文標題		
三藤 博	定名詞句解釈の関数アプローチ再説		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『自然言語への理論的アプローチ - 意味編 - 』（言語文化共同研究プロジェクト2004）		2 0 0 4	27-36

著者名	論文標題		
有田 節子	「どうせ」「いっそ」の用法と既定性		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
『大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告』	Vol. 13	2 0 0 5	

〔図書〕 計（12）件

著者名	出版社		
片桐 恭弘・片岡 邦好（編）	ひつじ書房		
書名	発行年	総ページ数	
講座社会言語科学第5巻『社会・行動システム』	2 0 0 5	256	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（0）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題			
Gunji, T.	Measurement and quantification revisited			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 8	2 0 0 5	21-36	

著者名	論文標題			
郡司 隆男	言語普遍性と個別性			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『月刊言語』	34 巻 8 号	2 0 0 5	24-31	

著者名	論文標題			
今仁 生美・宝島 格	視覚動詞と状況—視覚による情報抽出の分析			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』	16 巻 2 号	2 0 0 5	1-17	

著者名	論文標題			
坊農 真弓・片桐 恭弘	対面コミュニケーションにおける相互行為的視点—ジェスチャー、視線、発話の協調			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『社会言語科学』	7 巻 2 号	2 0 0 5	3-13	

著者名	論文標題			
Katagiri, Y., M. Bono, & N. Suzuki	Conversational inverse information for context-based retrieval of personal experiences			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Proceedings of the International Workshop on Conversational Informatics</i>		2 0 0 5	1-6	

著者名	論文標題			
Takahashi, T., C. Bartneck, Y. Katagiri, & N. Arai	TelMeA—Expressive avatars in asynchronous communications			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>International Journal of Human-Computer Studies</i>	Vol. 62, No. 2	2 0 0 5	193-209	

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社			
坂原茂	白水社			
書名	発行年	総ページ数		
『フランス語学研究的の現在—木下教授喜寿記念論文集—』（木下教授喜寿記念論文集編集委員会編）フランス語と日本語の名詞限定表現 (pp. 15-34)	2 0 0 5	283		

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題			
Bono, M. & Y. Katagiri	Gazing, pointing and modality expression in conversations			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>2nd Conference of the International Society of Gesture Studies</i>		2005	50-	

著者名	論文標題			
Bono, M. & Y. Katagiri	Gestural cues for turn-management in interactions			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>2nd Conference of the International Society of Gesture Studies</i>		2005	265-	

著者名	論文標題			
Matsui, M.	Prototypical features of phonetic/phonological categories			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Journal of Japanese Linguistics</i>	20	2005	41-50	

著者名	論文標題			
松井 理直	日本語五母音における音響的特徴の再検討			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『プロソディーの多様性と普遍性に関する総合的研究』	(3)	2005	50-58	

著者名	論文標題			
松井 理直	計算論的関連性理論における日本語条件文の解釈			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 8	2005	53-81	

著者名	論文標題			
松井 理直	確率論に基づく条件文の解釈			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『日本心理学会第 68 回発表論文集』		2005	857-857	

〔図 書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社			
田窪 行則	朝倉書店			
書名	発行年	総ページ数		
『世界の中の日本語』（早田輝洋編）日本語の文構造：語順を中心に (pp. 42-64)	2005	244		

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標 題			
松井 理直	計算論的関連性理論に基づく条件文解釈の過程			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本認知科学会第 22 回大会発表論文集』			2 0 0 5	386-387

著者名	論文標 題			
松井 理直	計算論的関連性理論に基づく推論の計算			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本心理学会第 69 回発表論文集』			2 0 0 5	911-911

著者名	論文標 題			
三藤 博	日本語名詞句の定 / 不定の意味論について			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『自然言語への理論的アプローチ - 意味編 - 』（言語文化共同研究プロジェクト 2005）			2 0 0 5	35-42

著者名	論文標 題			
坂原 茂	書評: 西山佑司著『日本語名詞句の意味論と語用論—指示名詞句と非指示名詞句—』			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本語の研究』		1 巻 2 号	2 0 0 5	98-104

著者名	論文標 題			
坂原 茂	変化述語について			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『言語・情報・テキスト』		Vol. 12	2 0 0 5	1-31

著者名	論文標 題			
田窪 行則	感動詞の言語学的位置づけ			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『月刊 言語』		Vol. 34, No. 11	2 0 0 5	14-21

〔図 書〕 計（ 12 ）件

著者名	出 版 社			
有田 節子	大学書林			
書 名			発行年	総ページ数
『小泉保先生傘寿記念論文集』（上田功・野田尚史編）「どうせ」の意味と既定性 (pp. 35-45)			2 0 0 6	624

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標 題			
田窪 行則	中国語の否定: 否定のスコープと焦点			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『中国語学』	252	2005	61-71	

著者名	論文標 題			
郡司 隆男	日本語の NPI の韻律と意味			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 9	2006	17-30	

著者名	論文標 題			
Takarajima, I., K. Akama, I. Imani, & H. Mabuchi	Design of termination for non-deterministic programs based on the equivalent transformation computation model			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (JACIII)</i>		2006	349-361	

著者名	論文標 題			
Imani, I.	Vision and four types of event			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>English Linguistics</i>	Vol. 23, No. 1	2006	86-112	

著者名	論文標 題			
片桐恭弘・石崎雅人・伝康晴・高梨克也・坊農真弓・松坂要佐・榎本美香	合意形成型の多人数インタラクションにおける会話構造について			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『電子情報通信学会技術研究報告』	Vol. 106, No. 219	2006	1-6	

著者名	論文標 題			
松井 理直	計算論的関連性理論と命題論理			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 9	2006	57-71	

〔図 書〕 計（ 12 ）件

著者名	出 版 社			
有田 節子	くろしお出版			
書 名	発行年	総ページ数		
『条件表現の対照』（益岡隆志編）条件表現研究の導入 (pp. 3-28)	2006	227		

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標 題			
松井 理直	計算論的関連性理論から見た命題論理の構造			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本認知科学会第 23 回大会発表論文集』			2 0 0 6	120-125

著者名	論文標 題			
井上 雅勝・松井 理直	日本語非正規語順文の理解に及ぼすプロソディ情報の影響			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本認知心理学会第 4 回大会発表論文集』			2 0 0 6	187

著者名	論文標 題			
三藤 博	イベント意味論に基づく日本語名詞句の意味の取り扱いについて			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『自然言語への理論的アプローチ—意味編』（言語文化共同研究プロジェクト 2006）			2 0 0 6	43-52

著者名	論文標 題			
坂原 茂	名詞句の探索領域: 日本語裸名詞と英語定冠詞句の類似性			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本語文法学会第 7 回大会発表予稿集』			2 0 0 6	33-42

著者名	論文標 題			
郡司 隆男	『反実仮想と日本語のアスペクト』			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
『日本語学』		Vol. 26	2 0 0 7	22-32

著者名	論文標 題			
郡司 隆男	日本語の分裂文と談話表示意味論			
雑誌名		巻・号	発行年	ページ
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>		No. 10	2 0 0 7	17-32

〔図 書〕 計（ 12 ）件

著者名	出 版 社			
有田 節子	くろしお出版			
書 名			発行年	総ページ数
『条件表現の対照』（益岡隆志編） 時制節性と日英語の条件文 (pp. 127-150)			2 0 0 6	227

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題			
宝島 格・今仁 生美	チャンネル理論—概要と解説			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
Discussion Paper（名古屋学院大学総合研究所）	No. 67	2007	1-33	

著者名	論文標題			
片桐 恭弘	多人数会話におけるあいづちの機能について			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
人工知能学会研究会資料	SIG-SLUD-A603	2007	39-44	

著者名	論文標題			
松井 理直	計算論的関連性理論に基づく日常的推論の分析			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin</i>	No. 10	2007	45-76	

著者名	論文標題			
宝島 格・今仁 生美	計算機における集合と個体の扱いについて			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『名古屋学院大論集 言語・文化篇』	Vol. 18, No. 2	2007	印刷中	

著者名	論文標題			
今仁 生美・宝島 格	オブジェクト指向に基づく自然言語の量化			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
『名古屋学院大論集 言語・文化篇』	Vol. 18, No. 2	2007	印刷中	

著者名	論文標題			
Takubo, Y.	Two types of modal auxiliaries in Japanese: two directionalities in inference			
雑誌名	巻・号	発行年	ページ	
<i>Japanese/Korean Linguistics</i>	Vol. 15	2007	In press	

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社			
三藤 博	朝日出版社			
書名		発行年	総ページ数	
『シュンボン—高岡幸一教授退職記念論文集—』（高岡幸一教授退職記念論文集編集委員会編）ラテン語の時の副詞節における法・時制・アスペクト形式（pp. 53-62）		2006	456	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 67 ）件

著者名	論文標題		
Kaufmann, S. & Y. Takubo	Non-veridical use of Japanese expressions of temporal precedence		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
<i>Japanese/Korean Linguistics</i>	Vol. 15	2 0 0 7	In press

著者名	論文標題		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
		∴ ∴ ∴	

著者名	論文標題		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
		∴ ∴ ∴	

著者名	論文標題		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
		∴ ∴ ∴	

著者名	論文標題		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
		∴ ∴ ∴	

著者名	論文標題		
雑誌名	巻・号	発行年	ページ
		∴ ∴ ∴	

〔図書〕 計（ 12 ）件

著者名	出版社		
Takubo, Y.	Kurosio Syuppan		
書名	発行年	総ページ数	
Shibanani, M. et al. (eds.), <i>The History and the Structure of Japanese</i> , Overt marker for individual sublimation in Japanese	2 0 0 7	In press	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計（ 0 ）件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日